

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名：一般国道501号飽田バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：熊本県	
起終点：自：熊本県熊本市中島町 至：熊本県熊本市銭塘町		延長：3.8 km	
事業概要：国道501号は福岡県大牟田市を起点とし、熊本県宇土市に至る54kmの幹線道路であるほか、県内から重要港湾熊本港へ連絡するための主要なアクセス道路である。飽田バイパスは、幅員狭小で大型車の離合が困難なことから、この解消を図るための延長3.8kmの2車線道路である。			
H7年度事業化	H年度都市計画決定 (H年度変更)	H10年度用地着手	
		H12年度工事着手	
全体事業費	61億円	事業進捗率	
		47%	
計画交通量	14,800台/日	供用済延長	
		0.3km	
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 1.4 (残事業)	総費用：(残事業)/(事業全体) /54億円 総便益：(残事業)/(事業全体) /77億円	基準年：平成16年
事業の効果等 ・物流効率化の支援（重要港湾熊本港へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある）他6項目			
関係する地方公共団体等の意見 国道501号は、熊本港へのアクセス道路、国道3号の渋滞緩和及び災害時の代替機能として重要な役割を期待されており、熊本市をはじめとする関係4市4町の首長で構成される国道501号整備促進期成会により早期整備の要望（平成16年11月5日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 飽田バイパスと交差する主要地方道熊本港線がH11年に開通し、交通量が6,558台/24h(H6セツス)から7,026台/24h(H11セツス)と増え、さらに国道501号走潟バイパスがH14年に開通したことで、さらに交通量の増加が見込まれる。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部用地について補償協議が難航しているものの、これまで約7割の用地取得が完了した。また、現道拡幅部ではL=311mの部分供用を図っており、バイパス部分はH16年度から改良工事に着手した。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 難航している一部用地について早期解決を図り、改良・橋梁工事に着手し、平成26年には全線供用予定である。			
施設の構造や工法の変更等 計画区間が干拓地内を通過することから盛土材を他工区から流用することによりコスト縮減を図っている。			
対応方針：事業継続			
対応方針決定の理由 当事業区間では、線形が不良で、かつ大型車の離合も困難である。このため早期完成に努めること。			
事業概要図 			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。